

賀詞交歓会 飛躍誓う

連携し次の世代に

日立市

日立市の新年名刺交換会(市、日立商工会議所主催)が7日、同市旭町2丁目のホテル天地閣で開かれ、市内各界の代表者約700人が新年の誓いを新たにしました。



約700人が出席した日立市の新年名刺交換会。同市旭町

主催者を代表して小川春樹市長が「今年は新しい元号の下、市制80周年の節目を迎える」とし、人口減少や若者の雇用・定住促進、子育て支援などに取り組み考えを強調。その上で「しっかり連携し、次の世代に引き継いでいく」とあいさつした。

浅野哲衆院議員や郡司彰参院副議長、藤田幸久参院議員、上月良祐参院議員がそれぞれ新年の抱負を述べたほか、地元県議と県議選初当選者があいさつした。同商議所の秋山光伯会頭が乾杯の音頭を取り、「今年はいのしし年。変化に対応しながら猪突猛進したい」などと述べた。家電が当たる抽選会も行われた。

安心なまちへ全力

常陸太田市

常陸太田市の新年賀詞交歓会と叙勲祝賀会が5日、同市中城町の市パルティホールで開かれ、市議や町会長ら約320人が顔をそろえ、年頭のあいさつを交わした。

発起人を代表し、大久保太一市長は「子どもからお年寄りまで、安心して住めるまち、いつまでも住みた

鏡開きを行い、新年を祝った常陸太田市の賀詞交歓会。同市中城町の市パルティホール



いと考えるまちとなるよう、全力で取り組んでいく」とあいさつ。来賓の梶山弘志前地方創生相、西野一、石井邦一両県議が祝辞を述べた。

19人の叙勲・褒章受章者を代表し、記念品を受け取った元市議の磯野満雄さんは「これを契機に、常陸太田市の発展のためにより一層努力していく」と謝意を述べた。

地場の産業を応援

笠間市

笠間市の賀詞交歓会が4日、同市南小泉の央戸ヒルズカントリークラブのクラブハウスで開かれた。各県から約250人が出席し、改元の年のさらなる飛躍を誓い合った。

開会のあいさつで山口伸

樹市長は地方創生をキーワードに、「地域が元気になるには農業や焼き物、石材業など地場の産業が元気になることが一番。地域で働く人の所得が少しでも伸びるよう応援していきたい」と強調。さらに「岩間地区が聖地とされる合気道をはじめ、笠間にしかない地域資源を生かし、まちづくりに取り組みたい」と呼び掛けた。

同会には小野寺俊副知事、国会議員、県議や市議、地元商工・農業関係者らが出席。主催者や来賓による鏡開きで祝宴に入ると、各テーブルで参加者は新年のあいさつを交わり、抱負を語り合った。万歳三唱で締めくくられると、会場は大きな拍手で包まれた。



主催者や来賓による鏡開き。笠間市南小泉